

社内外で利用する頻度の高いメモリ媒体は常に盗難・遺失の危険にさらされています。そんなメモリ媒体を安全かつ強固な情報金庫にする手段はないかとお考えの方に朗報です。

確実な本人認証と情報漏洩防止を図る クリプトニーモ

クリプトニーモは**視覚長期記憶型認証ソフト=ニーモニックガード**とデータ暗号技術とを統合することによって、確実な本人認証を行うとともに鍵盗用による解読を根絶する画期的な情報漏洩防止ソフトです。正規ユーザなら忘れるはずのない記憶に基づくパスシンボル入力を行い、本人認証が完了すると暗号鍵が生成され、プログラム終了時に消滅する仕組みで、鍵自体はどこにも存在しないため、鍵の盗用による情報閲覧を排除します。仕事上大事なデータや画像などを常に携帯して閲覧したいが、情報漏洩が心配という方のために、大容量で持ち運びにも便利なUSBメモリフラッシュUSB-128をご用意しました

【クリプトニーモの仕組み】

正規ユーザは認証画像から正しく登録済みパスシンボルを選択

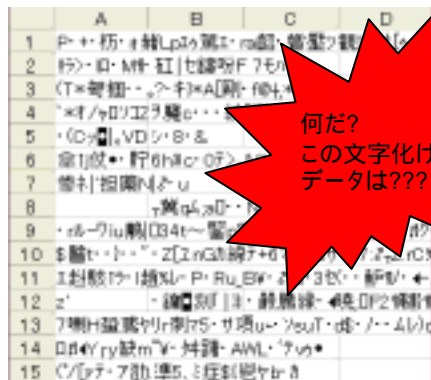
認証後、専用ビューア画面が立ち上がります。暗号化されたデータが復元可能になります。



USB-128M



不正アクセスを試みる者はメモリー媒体を盗用し、暗号化されたファイルをプログラムから開こうと試みるが・・・
認証を経ていないので平文に復元不可能。文字化けデータしか見られません。



【ソフトウェア製品仕様】

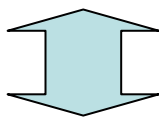
共通鍵は標準としてAES、公開鍵基盤には標準としてRSA暗号を使用
対応OS : Win2000 / XP

本人認証システムの動向

企業の機密情報漏洩という従来には考えられなかった犯罪が急増しています。いずれも外部からの侵入というよりは内部事情をよく知る者の犯行と推測されますが、社員・従業員・関係者のモラルという目に見えないものに左右されるだけに厄介です。事件発生リスクを回避するためには安全かつ確実な本人認証システム構築が必須であり、指紋や静脈などの身体的特徴を使って本人かどうかを識別するバイOMETRICS(生体認証)導入の動きが出て来ました。

良く言われるバイOMETRICSのメリット:

- ・ カードなどの持ち物によらず認証を行える。
- ・ 本人の生体情報のため、コピーが難しい。



バイOMETRICSの現状:

- ・ 生体情報といえどもコピーされる可能性を否定出来ません。また、万一コピーされた際には生体情報であるが故に防御策がありません。
- ・ 本人拒否
自分自身の生体情報にもかかわらず、機械が正しく読み取らない場合もあり得ます。そんな時、会社に入れない、仕事が出来ないという事態がおこってはいけませんから、代替認証手段を講じる必要が出てきます。その場合に従来通り英数字パスワードを利用したらどのようなことがおこるでしょうか？バイOMETRICS認証が行えない時に備えての利用頻度が高くないと想定されるパスワードですから、「覚えやすく」「絶対に忘れない」＝「他人にも類推し易い」もの、つまり、誕生日などの組み合わせになりかねません。悪意を持つ者ははじめからパスワード破りを狙うことでしょう。

以上のようにバイOMETRICS認証は万全ではありません。

【本人認証技術に求められる機能と効果】とは？

本人認証技術に求められる機能と効果とは、「本人を排除することなく他人を有効に排除すること」につきます。本人を排除しないようにすると他人を有効に排除できなくなる技術は本人認証技術としては不適合です。他人を排除するには有効だが、時には本人も排除してしまう技術も本人認証技術としては明らかに不適合です。

ニーモニックガードは、本人認証とは何かを原点に立ち返って考えた製品で、本人が一生忘れない思い出や好きな事・物や人物などを照合データ(パスシンボル)として登録・選択することにより本人認証を行います。個々人のもつ記憶を活用することにより、本人を排除することなく他人を有効に排除することに成功し、本人のプライバシー保護の問題を解決しました。

ニーモニックガード（視覚長期記憶型認証ソフト）

自分だけの思い出の画像を使った認証画面のカスタマイズは驚くほど簡単に行えます。

本人にとって思い出のある画像を3～10枚ほど用意します。

(カメラ付き携帯・デジカメ撮影画像、あるいは古い写真からのスキャニングでもOKです。)

画像と組み合わせて認証画面準備。

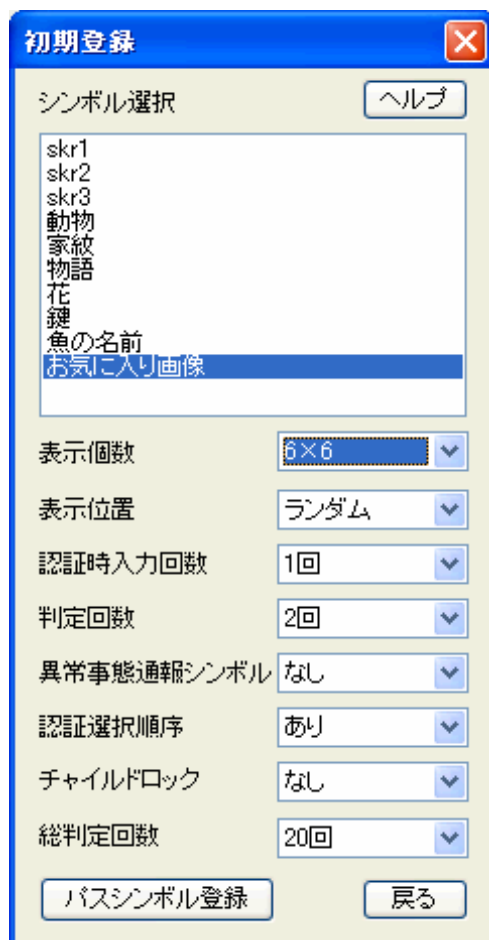
表示個数・位置、認証時入力回数、認証選択順序、異常事態通知シンボルの有無を選択。

いよいよパスシンボル登録です。

順番指定、2度押しなどでまぐれ当たりを排除

自分だけのオリジナル認証画面完成

他人にとっては何の意味もない画像でも本人にとっては忘れようもない大事な記憶ですから、どんなにたくさん画像が並んでいても、自分自身の記憶の中にある画像ならパッと目に飛び込んでくるものです。しかも 本人以外がそれを解読することは不可能です！



家族でハワイ
に行った

猫のリキは高い
ところが大好き

写真嫌いのチビ
は迷惑そう

ニーモニックガードは、本人認証とは何かを原点に立ち返って考えた製品で、本人が一生涯忘れない思い出や好きな事・物や人物などを照合データ(パスシンボル)として登録・選択することにより本人認証を行います。個々人のもつ記憶を活用することにより、本人を排除することなく他人を有効に排除することに成功し、本人のプライバシー保護の問題を解決しました。

自分だけの思い出の画像を使った認証画面のカスタマイズは驚くほど簡単です。

思い出のある画像を3~10枚ほど用意します。

(カメラ付き携帯・デジカメ撮影画像、あるいは古い写真からのスキャニングでもOKです。)

画画像と組み合わせる認証画面準備。

表示個数・位置、認証時入力回数、認証選択順序、異常事態通知シンボルの有無を選択。

いよいよパスシンボル登録です。順番指定、2度押しなどでまぐれ当たりを排除

自分だけのオリジナル認証画面完成

他人にとっては何の意味もない画像でも本人にとっては忘れようのない大事な記憶ですから、どんなにたくさん画像が並んでいても、自分自身の記憶の中にある画像ならパッと目に飛び込んでくるものです。しかも本人以外がそれを解読することは不可能です！



F A Q

Q1: 画像(絵)の認証でセキュリティが上がるのですか？

A1: どなたにでも脳裏に焼き付いている忘れがたい昔の思い出やかわいがっていたペット、愛着のある物などがおありで、写真をお持ちだと思います。そういった写真からスキャニングした画像を複数個組み合わせることで利用者ご自身の認証画面を作成するため、ご本人が種明かしをしない限りは、ご家族・ご友人といえども正解のパスシンボルを選択することは出来ず、高セキュリティを保証します。
詳しい登録方法については、別紙『ニーモニックガード登録方法』をご用意しております。

Q2: パスシンボルを忘れたらどうするのですか？

A2: A1でご説明致しました通り、利用者ご自身の忘れがたい思い出の画像を使用すれば、認証のためのデータを忘れてしまうというストレスから解放されると考えます。忘れない為にこそ、思い出の画像・ペットの写真・ご家族の昔の写真を選んで登録することをお勧めします。

Q3: バイオメトリクスと比較した場合のメリットは？

A3: バイオメトリクスの手法によっては、本人拒否、他人による偽造・なりすましを許容してしまう場合があります。また、身体の情報を利用することに抵抗を覚える方もいらっしゃると思います。
利用者ご自身の記憶による画像をパスシンボルとして使用するニーモニックガードは、他人には類推困難ですが、ご本人ならストレスなく正解を選択できますので、老若男女を問わずご利用頂ける安心かつ安全な認証方法です。

開発元

株式会社ニーモニックセキュリティ

お問い合わせ

株式会社SKRテクノロジー

144-0042 東京都大田区羽田旭町7-1-101

TEL: 03-5737-3180

<http://www.skr-tech.co.jp>

